

くまさんのおくりもの だい第1話 わ

なのはなの
ハチミツクッキーの
おくりもの



か し こうぼう
菓子工房 うちこし





くまさんのおくりもの ^{だい} ^わ 第1話

なのはなの
ハチミツクッキーの
おくりもの

^か ^し ^{こうぼう}
菓子工房 ^{うちこし}

^{まち} 町から ^い ^ち ^{よう} ^{なみ} ^き イチョウ並木を、ずっと ^{にし} ^い 西に 行くと、
ひときわ ふかい みどりの ^{もり} 森が あります。

その森の ^{もり} おくから、あまい香りが、
^{かぜ} 風に のって ながれてきます。

^け ^き ^や ケーキ屋さんの くまさんが、
^{きょう} 今日も おいしい お菓子 ^{かし} を ^や 焼いているようです。

でも、このお話は、^{はなし} 森のくまさんが ^け ^き ^や ケーキ屋さんを
はじめるより、もっと、も～っと ^{まえ} 前の ^{はなし} お話です。

^{もり}森の なかでは、^{さくら}サクラが ^{ちらちら}チラチラ、さきはじめ、
^{もり}森は ^{びんくいろ}ピンク色に、そまり はじめました。
^{もり}森の ^{どうぶつ}いろんな 動物たちが、^{とうみん}冬眠から さめて、
せっせと、はたらき はじめました。

そんななか、のんびり だらりが、
^{だい}大すきな くまさんは、
^{まいにち}毎日 のんびりと、くらしています。

くまさんは、^た食べることと
ねることが ^{だい}大すき、
とくに、あまい ^た食べものが ^{だい}だいすきです。

そんな、なまけもの くまさんですが、
^{だい}大すきな おやつの ^{かし}お菓子だけは、
^{まいにち}毎日、せっせと つくります。



きょう　くまさんは、お家で　うち　ひる　昼ごはんの、
ほ　っ　と　け　き　や　ホットケーキを　焼いています。

「1まい～、2まい～、3まい～、・・・10まい～♪」

さら　お皿いっぱい、山もりの　やま　ほ　っ　と　け　き　みて、
くまさんは、ごきげんです。



くまさんは

^は^ち^{みつ}^{びん}ハチミツのビンをとって ^は^ち^{みつ}ハチミツを たらり・・・

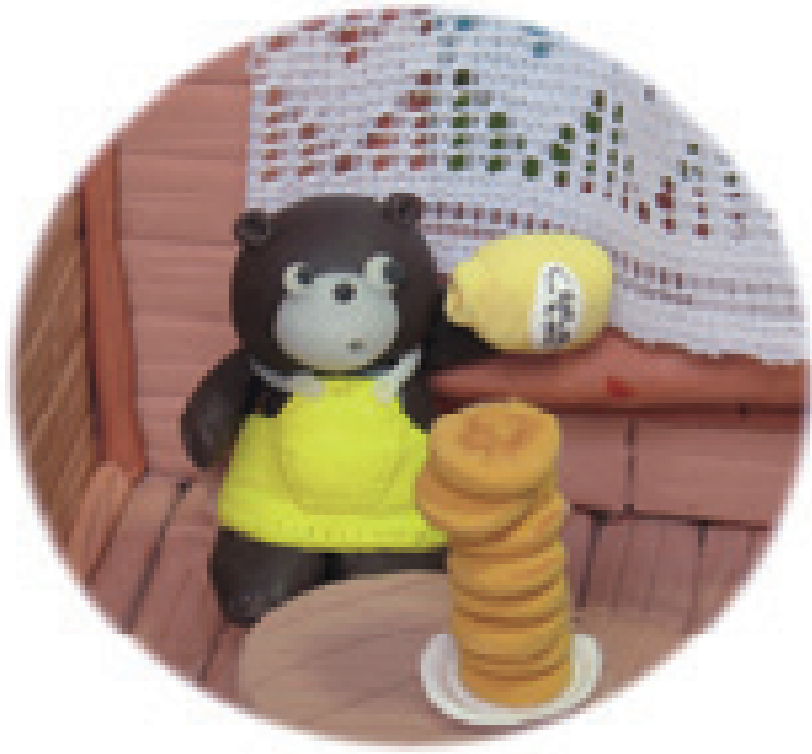
「うん、たらり・・・？」

^は^ち^{みつ}ハチミツが でてきません。

いくら ふっても、でてきません。

のぞいても、^{そこ}底を ^ど^ん^ど^ん ドンドン たたいても、

「おーい」と いっても、なんにも でてきません。



「え～ おかしいな～ きのは あったのにな～」

「あ～ きのは、^{ぱん}パンに たっぷり つけて、

^た食べちゃったもんね～」

「いいや、うらの ^の^は^ら野原の、みつばちくんの家^{いえ}に

いけば、たくさん あるんだあ～」